

関西北陸ブロック KC's双方向コミュニケーション

概要

日程：10月14日 13:30～16:30
場所：住友生命「Vitality」
プラザ 大阪梅田店

参加者

富県大(1)、龍谷大(1)、京都橘(1)、奈良女(1)、奈教大(1)、滋県大(1)、阪電通(1)、大阪大(1)、大教大(1)、樟蔭女(1)、ブロック学生事務局(3)、ブロック職員(1) 計10会員14名



01 フードロスを考える

日本ハム/食品産業中央協議会さんより

1ターム目の講師として、日本ハム/食品産業中央協議会の方をお招きし、昨今の日本のフードロスを取り巻く現状をお話いただきました。皆さんは食品をやむなく廃棄する時、何を基準にしますか？多くの方は賞味期限を基準にするそうですが、産業廃棄されてしまう食品の多くは、それよりもずっと前に廃棄されてしまうそうです。

皆さんもまずは、手前どりなどできることから始めてみませんか？

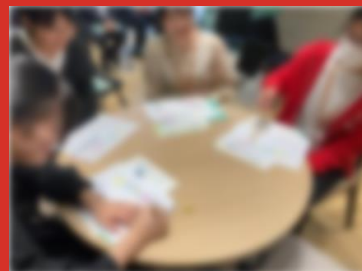


現状を知り、個人のできる対策を行うことで、日本や世界の環境を変えることができる
(龍谷大3年)

02 社会保障を考える

住友生命さんより

2ターム目の講師として、住友生命の方をお招きし、大学生が意識すべき社会保障やお金のお話をさせていただきました。成年年齢が引き下げられ、すべての大学生が“大人”として扱われるようになって1年。大学生も、将来のことを考えて、今から様々なことに備えておくことが大切だということを学びました！



20歳を超えて実際に制度に触れることで、新たな気づきを得られた
(奈教大3年)

03 未来を考える

SDGs達成のために

今回お話しいただいた2つの企業はそれぞれSDGsに積極的に取り組まれています。その取り組みについても教えていただき、ちょっとしたことからでもSDGs達成のための行動ができるということを学びました。

無理のない範囲で社会的課題、SDGsに取り組むことが現代を生きる大学生に求められているのではないかと感じられる双方向コミュニケーションになりました！



SDGsという環境や教育格差を考えがちだが国民の生活という広い観点が見られた
(同志社4年)